

安全データシート (SDS)

1. 製品及び会社情報

- ・ 製品の名称 : ワリフ CLAF
- ・ 奨励用途及び使用上の制限 : 他基材の補強、通気性材料資材との複合など。
- ・ 会社名 : 販売者 ENEOS テクノマテリアル株式会社
- ・ 住所 : 〒289-1624 千葉県山武郡芝山町小池 2700 番 72
- ・ 担当部門 : 成田工場 技術グループ
- ・ 発行連絡先 : 電話番号 0479-77-1524
FAX 番号 0479-77-2218

2. 危険有害性の要約

- ・ GHS の分類 : 分類基準に該当しない。
- ・ GHS 分類に該当しない
他の危険有害性 : 特段の注意を要する危険有害性をもたないが、火炎やスパークによる火花等に接触することにより引火することがある。

3. 組成、成分情報

- ・ 化学名 : ポリエチレン (単一製品)
- ・ 成分及び含有量 : ポリエチレン $\geq 98.0\%$ 、添加剤 $\leq 2.0\%$
- ・ 化学式又は構造式 : 特定できない。
- ・ 官報公示整理番号 : 官報記載済み (6)-1、(6)-10
- ・ CAS 登録番号 : 9002-88-4 、 9010-79-1
- ・ 国連分類及び国連番号 : 該当しない。
- ・ PRTR 法 : 該当しない。

4. 応急措置

特別な応急処置が必要になる危険有害性はない。

- ・ 吸入した場合 : 高温の溶融樹脂から発生するガスをひどく吸入した時は、新鮮な空気のある場所に移る。咳・呼吸困難やその他の症状が出た時は、医師の手当てを受ける。
- ・ 皮膚に付着した場合 : 石鹼・水で良く洗い流す。溶融物が付着した場合には、衣服の上から大量の水をかけ、十分に冷却し、衣服を脱がせ、医師の手当てを受ける。
- ・ 目に入った場合 : 危険な物質ではないが、眼球を傷つける可能性があるため清浄な水で洗い流す。異物が目に残るようであれば、眼科医の手当てを受ける。
- ・ 飲み込んだ場合 : 危険な物質ではないが、出来るだけ吐き出し、異常を感じるようであれば、医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置	
・ 消火方法	: 一般火災と同じ消火方法を用いて差し支えない。
・ 消火剤	: 水、泡消火剤（エアフォーム）、粉末消火剤等を用いることが出来るが、水は冷却効果が大きいので水を使用することが望ましい。
・ 消火を行う者の保護	: 保護手袋、保護眼鏡（ゴーグル型）、空気呼吸器を着用する。

6. 漏出時の措置 *1	
・ 人体に対する注意事項	: 情報なし。但し、床面に散乱した場合は滑る恐れがあるので清掃の上、回収する。
・ 環境に対する注意事項	: 排水系などの水面へ流出した場合は、魚類、鳥類等に悪影響もある。
・ 回収・中和	: 該当しない。

7. 取扱い及び保管上の注意	
・ 取扱い	: 常温では引火の恐れはないが、作業上で火気をみだりに使用することを避ける。
・ 保管	: 常温で保管し、直射日光、水濡れ、急激な温度変化等を避ける。貯蔵場所ではみだりに火気を使用しない。

8. 暴露防止及び保護措置	
・ 設備対策	: 該当しない。
・ 管理濃度	: 特に定められていない。
・ 許容濃度	: 日本産業衛生学会（1996年度版）… 特に定められていない。 ACGIH（1996年度版）… 特に定められていない。
・ 呼吸用保護具	: 通常は不要。火災の場合は自給式呼吸器具を使用する。
・ 手の保護具	: 作業環境に応じて皮製の手袋などの保護具を使用する。
・ 目の保護具	: 作業環境に応じて眼鏡等の保護具を使用する。
・ 皮膚及び身体の保護具	: 該当しない。

9. 物理的及び化学的性質	
・ 外観等	: ネット状。
・ 臭い	: 特になし。
・ 蒸気圧 (mmHg)	: 測定データなし。
・ 蒸気密度 (空気=1)	: 測定データなし。
・ 発火点	: 350℃付近
・ 密度	: 0.91~0.96g/cm ³
・ 融点	: 102~136℃
・ 溶解性	: 該当しない。

10. 安定性及び反応性	
・ 安定性／反応性	: 一般的な貯蔵取扱いにおいては安定で、反応性はない。
・ 避けるべき条件	: 危険有害物等は発生しないが、直射日光に長期間暴露されるとポリエチレンの劣化が生じる。また、熱、火または強い酸化剤との接触を避ける。

11. 有害性情報	
・皮膚腐食性	: 皮膚腐食性はない。
・刺激性	: 非刺激性。
・感作性	: 感作性はない。
・急性毒性 *2	: 原料であるポリエチレンの生体に対する影響を見ると、ラットの経口投与による LD ₅₀ 算定が試みられたが、7.95g/kg 以上の投与は実験操作上困難であり、また、この 7.95g/kg の投与量では、なんら毒性の兆候は見られず、体重増加も正常であり、組織病理学的検査でも異常は認められない。
・がん原性 *3	: 原料であるポリエチレンは、IARC の発がん性区分でグループ 3 (ヒトに対して発がん性について分類できない) に分類されている。
12. 環境影響情報	
海洋生物・鳥類が摂取することを防止するために、いかなる海洋や水域へ投棄・放出してはならない。	
・生態毒性	: 毒性影響を及ぼすとは考えにくい。
・分解性	: 容易に生物的に分解しない。
13. 廃棄上の注意	
<ul style="list-style-type: none"> ・関連法規、地方自治体の基準に従い適切な廃棄を行う。 ・廃棄物は原則として、焼却又は埋立によって処理する。 ・焼却する時は、焼却設備を用いて「大気汚染防止法」等の関係法令に適合した処理を施し、焼却する。 ・埋め立てる時は「廃掃法」に従って処理する。 	
14. 輸送上の注意	
・国際規制	: 国際輸送に関する国際勧告の定義上は危険物に該当しない。 日本および輸出先の国内法令に従う。
・消防法	: 危険物に該当しない。
・船舶安全法	: 危険物に該当しない。
・航空法	: 危険物に該当しない。
・注意事項	: 梱包袋が破れないように、水濡れや乱暴な取扱いを避ける。
15. 適用法令	
・消防法	: 指定可燃物 (合成樹脂類) (指定数量 : 3,000kg)
・水質汚濁防止法	: 該当しない。
・毒物劇物取締法	: 該当しない。
・廃棄物の処理及び清掃に関する法律	: 産業廃棄物規制 (拡散、流出の禁止)
16. その他の情報	
・引用文献 *1	: 樹脂ペレット流出防止マニュアル (日本プラスチック工業連盟)
*2	: プラスチックス Vol.26 No.3 P.20
*3	: IARC MONOGRAPHS Supplement No.7 Overall evaluations of carcinogenicity : An updating of IARC Monographs Volumes 1 to 42, 1987

<ul style="list-style-type: none"> ・特記事項 	<p>記載内容は、現時点で入手できる資料・情報・データに基づいて作成しており、上記の情報は新しい知見により訂正されることがあります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には、用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。なお、上記の内容は情報提供であって、保証するものではありません。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・改訂履歴 	<p>作成日：1995年 8月 31日</p> <hr/> <p>改訂日：2000年 11月 1日 内容：JIS Z 7250：2000に準拠して項目を整理し、全体の体裁を修正</p> <hr/> <p>改訂日：2002年 6月 26日 内容：社名変更</p> <hr/> <p>改訂日：2006年 4月 28日 内容：担当部門名変更</p> <hr/> <p>改訂日：2006年 8月 1日 内容：製品名称変更</p> <hr/> <p>改訂日：2008年 11月 1日 内容：担当部門名変更</p> <hr/> <p>改訂日：2010年 7月 1日 内容：社名、住所変更</p> <hr/> <p>改訂日：2010年 11月 16日 内容：JIS 2005年版対応（GHS対応）</p> <hr/> <p>改訂日：2012年 7月 1日 内容：会社分割 販売者 JX日鉱日石エネルギー株式会社 受託製造者 JX日鉱日石 ANCI株式会社</p> <hr/> <p>改訂日：2014年 4月 1日 内容：担当部門名変更</p> <hr/> <p>改訂日：2015年 3月 1日 内容：JIS Z 7253:2012に対応</p> <hr/> <p>改訂日：2015年 10月 1日 内容：吸収分割および社名変更 販売者 JX ANCI株式会社</p> <hr/> <p>改訂日：2019年 4月 1日 内容：担当部門名変更</p> <hr/> <p>改訂日：2020年 4月 1日 内容：担当部門名変更</p> <hr/> <p>改訂日：2020年 10月 1日 内容：社名変更</p> <hr/> <p>改訂日：2023年 2月 1日 内容：JIS Z 7253:2019に対応</p> <hr/> <p>改訂日：2023年 4月 1日 内容：担当部門名変更</p>

・改訂履歴

改訂日：2024年4月 1日

内容：担当部門名変更
